

みだい



普遍性について（ごぼれ話①）

みだい寮施設長 老沼 正敏

このコーナーでは、「普遍性について」話題にしてみました。今回で三回になります。

昨年のことですが、通勤時に聞いていたNHKラジオで、作家の高橋源一郎さんが『華氏451度』という本の話をしていました。レイ・ブラッドベリーのSF小説で、1966年にフランソワ・トリュフォー監督により映画化されています。私は高校生の頃に、この映画をテレビのロードショーの再放送で観ました。示唆を感じ、文庫本も読みました。家の本棚を探しましたが見当たらず、新訳版が出たというのでアマゾンで注文し読み返しました。（なるほど・・・）

華氏451度は本の紙が燃え出す温度です。近未来都市の話です。家々では、リビングの壁一面に大画面のテレビモニターが複数設置され、人びとはモニターの中の人物と会話もできます。管理された映像世界にどっぷり浸かって生活しています。主人公のモンターグは「ファイアマン」、花形の職業です。といっても、消防士ではありません。この世界では、徹底した管理体制の下で（人びとの多くは気づいていない）、書物を読むことが禁じられています。「ファイアマン」は書物の搜索と焼却を職務としています。「焚書」です。書物は、当局によって簡素化されたパンフレットと化しています。人びとは書物と向き合い、思索し、自分の知識や価値観を広げ深める自由を奪われています。モンターグは仕事に、「書物には何が書かれているのだろう」と興味を持ち、こっそり持ち帰ります。そして、書物の魅力に惹かれていくのです。ところが、それを密告され、彼は管理体制に粛清される身となってしまいます。人びとの知らないうちに戦争が始まります。モンターグは逃亡の過程で、ある場所に辿り着きます。「本の人々」が住む場所。彼らは、書物を後世に残すために、必死に暗記し語り継いでいたのです・・・

この近未来小説が書かれて既に半世紀が過ぎました。今日では、多くの人がスマホの画面に見入っています。

研修会などに出ると、パワーポイントを使って要領よく説明されることが多くなりました（しっかりした裏付けをもってのことだと思えますが）。目の前の現象の本質を捉え、考えることの大切さを想うのです。老婆心です。

家族会、会長辞任の挨拶

長田 寛

私、長田寛はこのたび、みだい寮、家族会の会長を辞任いたしました。本当に長い間、皆様にご協力をお願いいただき、ありがとうございます。

思い返してみれば、みだい寮、開所以来、昭和の終りから平成をまたぎ今年、令和を迎えた三十二年間の長きにわたり、歴代施設長の堀内、今沢、戸島、小林、老沼の各氏をはじめ、みだい寮の職員、保護者の方々の熱き思いをいただいで、大過なく任務を果たすことができました。

私は四十九才の時から今年、八十二才になりますが、私の人生の後半生は、みだい寮と共にありました。私には三人の子供がおりませんが、長女の直子だけが、ついに大人になりえなかった。その子を支えて生きることを、私は選びました。

直子を介して、みだい寮、手をつなぐ親の会、保護者会、そして福祉に係る多くの人々との出会い、そのなかにあつて、私はいつでも娘の直子の親でした。しかし今、八十才を過ぎた老体を鞭打っております。が、思いどうりにならない我が身に、にが笑いを浮かべながらいとおしみ、やっと直子と障害者どうしの仲間意識がもてるようになりました。

私は今、動くことのすべてが、リハビリテーションと心得て親子共々、励んでおります。

みだい寮の保護者も、皆さん高齢になりました。近年、保護者会も、その名を改めて、家族会と命名いたしました。そして、その名に相応しく新会長の堀内さんにバトンタッチをしました。

新会長の堀内澄子さんは、堀内丈史さんの妹さんです。若い女性の新風を、このみだい寮に吹きこんでいただけることでしょうか。これからも、私同様、惜しみない協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



家族会会長就任にあたって

家族会会長 堀内 澄子

皆様、こんにちは。つつがなく日々の生活を送っていらつしやることと存じます。

私はこの度、みだい寮家族会の会長を仰せ付けられました堀内澄子です。堀内丈史の妹です。

四月末に行われました家族会総会において、前会長の長田さんからバトンを渡されました。長田さんには長年にわたり会長を務めて頂きまして、本当にご苦労様でした。

長田さんから会長になつてくれないかというお話があつた時、最初はお断り致しました。私より適任な方がたくさんいらつしやいますし、親御さんがなさつた方が良いと思つたからです。しかし、長田さんと奥様から熱心に説得され、お引き受けすることに致しました。そして、何よりも私の父が長年副会長として色々なことに関わつていたのでこの目で見えてきたため、私で役に立つのならばと考え、会長を引き受ける決心をしました。現在、みだい寮では、利用者の方々の高齢化や障害の多様化が見られ、それに対応して下さる職員の皆様の仕事は年々難しくなり、また忙しくもなつてきています。元気に、利用者に寄り添つて親切に対応して下さいることに、心より感謝しております。

これから先もずっと、利用者の方々が笑顔で毎日を送れますように、そして、職員の皆様が各々の持ち味を活かして十分に活躍できますように、家族会は縁の下の力持ちになつてバックアップしていきたいらと思つております。若輩者の私ではありますが、全力で会長としての任務にあたる覚悟ですので、どうぞ会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。



利用者会役員選挙が4月26日に実施されました。

令和元年度 利用者会新役員紹介



会計監査 有野佳代子さん
会計の仕事を頑張りたいです！

会長 天野多恵子さん
まとめ役としてしっかりやりたいです！
よろしくお願いします！

書記 堀内文史さん
昨年は会長をがんばりました。今年は書記をがんばります！

副会長 伊藤すみかさん
今年度も笑顔で頑張ります！

会計 橋本美紀さん
みんなと一緒に楽しみながら頑張ります！

副会長 塩沢秀夫さん
みんなを盛り上げていきたい
と思います。
よろしくお願いします！

〈新任・異動職員挨拶〉

[新任]



新しく入職させていただいた渡辺健太です。利用者一人一人のニーズだけでなく潜在的ニーズにも着目し「自己実現」を達成してもらえような支援を提供していきたいと思っています。また、利用者さんが幸せな生活を送れるよう、日々勉強しながら支援させて頂きたいと思っています。

支援員 渡辺 健太

[異動]



はじめまして。橋本修平と申します。この4月に13年勤務しました梨の実業から異動してまいりました。利用者さんおひとりおひとりに寄り添って、「橋本さんがいてくれてよかったなあ」と利用者さんや保護者の方々からも信頼をして頂けるような存在になりたいと考えております。よろしくお願いいたします。

支援員 橋本 修平

[異動]



育精福祉センター成人寮から異動しました、坂本智洋です。昨年まで農園の作業をしていたので、機会があれば畑などの作業で楽しく活動ができればと思います。また、利用者さん一人一人が健康で生き生きとした生活が送れるよう努めていきます。これからよろしくお願いいたします。

支援員 坂本 智洋

行事・活動のハイライト

2月 節分

1月 新年会

今年は魚覚で行いました。



美味しいお料理でした～



みんなで豆まき！
怖かったけど、楽しかったです。

3月 お楽しみ会



どれにしよ
うかな～

4月 花見



お菓子を食べて、きれいな桜を
楽しみました！

5月 ボーリング大会



楽しくて盛り上がりました。



フライングディスク大会

6月 スポーツ大会



いろいろな競技で体を動かしました。



梨の実運動会

パン食い競争をしました。

旅行先選択に関する意思決定支援

間々瀬 透香

旅行は利用者の皆さんがとても楽しみにしている行事のひとつです。最近では利用者さんの高齢化に伴い、多種多様な旅行を提案しています。大型のバス旅行や日帰り旅行、近場の泊旅行等ご本人の希望・体調を見ながら行先を考えています。その中で私たちが大切に行っているのが利用者の方の意思決定支援です。

先ず皆さんに希望を取りませんが、ただ「どこに行きたいですか？」と聞いてもパッと「ここに行きたい！」と言える方は本当に少ないです。言葉だけで理解できる方・絵や写真での理解の方が良い方等、一人ひとり理解の仕方が違う為提案の仕方も変わってきます。皆さんの中に情報量が少ない為、職員側から工夫して写真や絵と一緒に「こんなところもあります」と提案をし、その中から皆さんに行き先や何をしたのかを選んで頂いています。また理解は出来ても「ここに行きたい」「これをした」という希望を伝える事ができない方もいます。その表面に出てこない想いをどう汲み取るかがとても難しいと感じています。

「想い」をうまく伝えられない方は、担当職員がご本人の日常の様子やご家族に聞きながら楽しんでいただける旅行になるようにしています。ふと「職員の意見に偏っているのではないかと？」「本当はどう思っているんだろう？」と思うこともあります。「本当はホテルではなく温泉のある旅館に行きたいのではないかと」「本当は小旅行の方が良いのではないかと」等想いを伝えられない方の想いを汲み取るのは簡単なことではありません。あるケースでは



絵や写真以外にパソコンで動画を見て頂いたこともあります。すると温泉の映像が出たときに動きを止め画面を注視してきました。その後パソコンをしきりに叩いていました。「あ。温泉に行きたいんだ」とそこでその人の想いに近づけた気がしました。旅行に限らず日々の中で利用者の方の想い・意思をどれだけ汲み取れているのかと考えると、(9年間働いています)まだまだその人の想いを分かってあげられていないなど痛感しています。皆さんが楽しみにしている旅行を一人ひとりの方が「行って良かった。楽しかった」と思えるように、これからもその方の意思を汲み取ることに努め支援に反映していきたいと思えます。

7月～12月の行事予定

7月	七夕
8月	開所記念 納涼祭
9月	障害者文化展
10月	福祉村祭り
11月	秋レク
12月	クリスマス会 餅つき大会 大晦日パーティー

平成31年1月～令和元年6月までの 苦情解決

社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会における「苦情解決の仕組み」による苦情解決について報告致します。

申し出日 平成31年4月12日

申し出人 養護者

相談の分類：ケアの内容に関する事項

処理状況：申出人、及び、関係者による話し合いを行い解決

申出人への確認：申出人が話し合いで納得し、第三者委員への報告は不要であるとの事

平成30年度決算報告

資金収支計算書			
平成30年4月1日～平成31年3月31日			
福祉事業活動収支	収入	障害福祉サービス等収入	318,903,480
		経常経費寄付金収入	0
		受取利息配当金収入	42,510
		その他の収入	420,160
		福祉事業収入計	319,366,150
	支出	人件費支出	227,232,486
		事業費支出	51,068,415
		事務費支出	17,299,500
		その他の支出	1,044,825
		資金減少額（徴収不能額）	0
福祉事業活動収支差額		22,720,924	
施設整備等収支	入	施設整備等収入計	0
	出	施設整備等支出計	8,755,020
	施設整備等収支差額		△ 8,755,020
財務活動	入	財務活動収入計	0
	出	財務活動支出計	0
	財務活動収支差額		0
その他の収支	収入	積立資産取崩収入	907,180
		その他の活動収入計	907,180
	支出	積立資金支出	0
		拠点区分間繰入金支出	5,266,000
		その他の活動支出計	5,266,000
その他の活動資金収支差額		△ 4,358,820	
予備費		0	
当期資金収支差額合計		9,607,084	
前期資金残高		227,699,585	
当期末資金残高		237,306,669	

貸借対照表	
平成31年3月31日	
資産の部	
流動資産	258,643,701
基本財産（土地）	0
基本財産（建物）	258,719,631
その他の固定資産	446,481,918
資産の部合計	963,845,250
負債の部	
流動負債	31,226,032
固定負債	25,346,330
負債の部合計	56,572,362
純資産の部	
基本金	199,405,920
国庫補助金等特別積立	143,653,437
その他の積立金（施設整備積立金）	404,511,358
次期繰越活動収支差額	159,702,173
（うち当期活動収支差額）	△ 16,892,129
純資産の部合計	907,272,888
負債及び純資産の部合計	963,845,250

平成30年度みだい寮においては、高齢化する利用者への対応として、専用の車いすに乗ったまま入浴できる機械浴槽の導入と浴室の環境整備を行いました。また、照明器具のLED化などを実施し、利用者の生活環境の向上にも努めました。

みだい第63号 編集後記

平成から令和へと元号が変わり、新しい時代が幕を開けました。この「みだい第63号」は新元号令和での第一号となりました。令和でも利用者さんが元気で楽しい生活が送れるよう職員一同協力して支援にあたっていきたいと思います。今号では利用者さん一人一人がどのように旅行先を決めているのか、意思を尊重しながら支援している様子を掲載しています。まだまだ経験不足な所や研究が必要などころはあると思いますが、今後ともよろしくお願ひ致します。

編集後記 坂本・望月